

人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ

2026年1月16日

報道関係各位

三菱地所コミュニケーションズ株式会社

令和7年度「マンションストック長寿命化等モデル事業」に選定

三菱地所コミュニケーションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大井田 篤彦、以下「三菱地所コミュニケーションズ」）は、国土交通省が実施する令和7年度「マンションストック長寿命化モデル事業」第3回に応募し、先導的再生モデルタイプ・計画支援型において提案した事業が採択されました。（[国土交通省採択結果ページはこちら](#)）

■マンションストック長寿命化モデル事業とは

高経年マンションについて、適切な維持管理を促進するとともに、改修や建替によるマンションの再生を促進するため、老朽化マンションの再生検討から長寿命化に資する改修や建替え等にあたって、総合的に優れた先導的な再生プロジェクトを公募し、国が事業の実施に要する費用の一部を補助することにより、優良事例・ノウハウを収集し、全国への普及展開を図ることを目的とした事業です。

*高経年マンションとは

国土交通省では、築40年以上のマンションを「高経年マンション」と定義しています。

▼今回採択された協栄浮島マンション



今回、当社が採択された事業は、築50年を超える借地権付き高経年マンションを対象とした敷地売却事業の検討に関するものです。当該マンションでは、建物竣工から長年にわたり、理事会・総会が開催されておらず、建物の外壁劣化をはじめとする老朽化が進行しておりました。こうした状況を受け、当社は2023年より管理組合運営の支援業務に着手し、理事会が機能し始めたことを契機にマンション再生に向けた検討が本格化し、当社のマンション再生業務において比較検討のサポートを行ってまいりました。今回、管理不全マンション再生に向けた取り組みとして、2023年以降、区分所有者向けの勉強会や個別面談を実施し、敷地売却推進決議まで成立させている点や、底地権者との調整を進め、買受人候補まで選出している点などが、課題に対するこれまでの取り組みとして評価されました。

■今後の取り組み

今後、高経年マンションの急増が見込まれる中、当社では、特に管理組合へのサポートが手薄な検討初期段階を中心にマンション再生を検討する管理組合をサポートする再生業務に取り組んでいます。

<マンション管理再生サイト>

<https://www.innvelios.com/m-saisei/>

三菱地所コミュニティは、これからも居住者の皆さんに安心で快適な生活環境をご提供できるよう、本事業を通じて高経年マンションの社会課題解決に向けて取り組んでまいります。

【お問合せ先】 三菱地所コミュニティ株式会社 経営企画部 メール：mjc-kouhou@mec-c.com